

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校整備基本計画（概要版）

1. はじめに

さいたま市では、いわゆる「中一ギャップ」の緩和を目指し、小・中学校間の円滑な接続を図るために平成24年度から「さいたま市小・中一貫教育」の研究を進めてきました。また、学校教育法の改正により平成28年4月から9年間の義務教育を一貫して行う「義務教育学校」の設置が可能となりました。

一方、武蔵浦和駅周辺地区においては、人口増加の影響により、多くの小・中学校が過大規模・大規模校となっており、教育環境の改善が喫緊の課題となっています。加えて、児童生徒数の推計から、この地区にはさらに小学校1校、中学校1校に相当する規模の増加が見込まれます。

そこで、市有地である沼影公園と沼影小学校の敷地を一体的に活用して校舎を新設し、この新設校舎と、既存の浦和大里小学校校舎、内谷中学校校舎の3つの校舎からなる学園構想により、教育の質の向上と良好な教育環境の整備を目的とした義務教育学校を整備するため、ここに基本計画を策定します。

2. 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の教育の概要

（1）目指す学校像

本市の教育が目指す人間像「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」の実現に向け、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校では、子ども一人ひとりの特性を踏まえ、9年間の一貫した教育を通じて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、自らの可能性を高めながらより良い未来を創造する力をはぐくむ学園「新しい自分と出会える学園 ～To the next stage～」を目指します。

（2）学年編成と児童生徒数・学級数

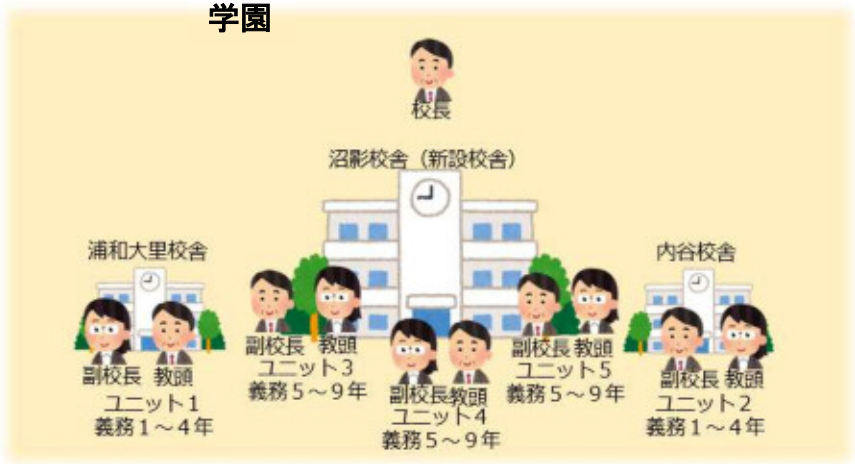
これまでの小中一貫教育の研究の成果を踏まえ、4－3－2年制の学年編成とし、各校舎における児童生徒数を下表のように見込んでいます。

校舎	浦和大里校舎（現 浦和大里小学校） 内谷校舎（現 内谷中学校）	沼影校舎（新設校舎）	
学年編成	第Ⅰ期（1～4年）	第Ⅱ期（5～7年）	第Ⅲ期（8～9年）
ステージ	基礎・基本定着期	基礎・基本拡充期	発展・充実期
児童生徒数 住民基本台帳に基づく推計	各校舎 約800人	約2,000人	
学級数 小学校35人学級 中学校40人学級	各校舎 26学級 （内 特別支援学級 2学級）	63学級 （内 特別支援学級 6学級）	

（3）ユニット制

約3,600人の児童生徒が在籍する学園において教育活動を展開するにあたり、ユニット制を導入し、適正な規模での教育活動を実現し交流活動の活性化を図ります。

- ・ユニットとは700名～800名の児童生徒で構成した異学年グループ
- ・学園全体を5つのユニットで構成し、適正な規模で教育活動を展開
- ・学園全体に校長1名、ユニットごとに副校長1名、教頭1名を配置し、きめ細かな効率的・効果的な学校運営が行われる体制を研究

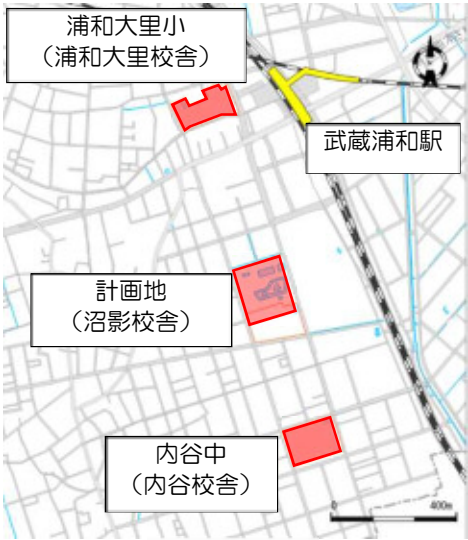


ユニット制イメージ図

3. 沼影校舎（新設校舎）の計画概要

所在地 さいたま市南区沼影2丁目7番35号外
敷地面積 約31,000㎡
用途地域 準工業地域
高度地区 指定なし
建蔽率・容積率 60％・200％
用途 義務教育学校
延べ面積 約36,000㎡
概算工事費 約133億円※

※さいたま市公共施設マネジメント計画・第2次アクションプラン
ハコモノ施設における修繕・改修、更新（建替）等の単価を基に算定



計画位置図

